

■小出兼政(長十郎)

こいでかねまさ
昌平饗始・1797=

数学者・天文学者。日本初の対数表ほか多くの業績。

生。徳島藩地方代官手代の小出利兵衛の子。

げんろ報復・1806=9歳:

黒住教・・・1814=17歳: 官城流入門,
・・・1815=18歳:

水野忠成老中1818=21歳:
群書類従完結1819=22歳: 皆伝。他流へ入門するため、病と称して職を辞し、

シボト嶋瀧塾1824=27歳: 保養を理由に江戸へ出て、日下誠門下となる。

・・・1826=29歳: 芝増上寺恵照院の普門律師円通に入門して、暦学・陰陽道を学ぶ。'固より貯金とてはなく、百姓宿に匿留、昼は筆耕杯仕、夜は自分稽古仕、寒暑の怠なく千辛万苦した'という。この年、和田寧門下となり、関流宗統の伝を受け、さらに最上流の伝書百巻を伝授される。

シボト嶋追放・1829=32歳: 再び江戸へ戻り、和田寧より円理割術の皆伝を受け、
その後、自ら暦術計算の結果が、寛政暦と一致しなかったため、京都へ上り土御門家に入門。
自ら、官城流・関流・最上流・和田円理学の四流兼学と称した。

天保大飢饉始1833=36歳:

高島砲術・・・1834=37歳: *再び土御門家へ入門し、「丁酉元暦16巻」(天保暦の基礎となる)を著わし、秘書となる。

滑稽+人情本 1835=38歳: オランダ舶来の天文書の話聞き、江戸で天文方渋川景祐に入門している。

・・・1836=39歳: 師範代、准学頭。藩より'退身なれども後日御用あるにつき、専心一意学問修業すべし'と内命を受け、

大塩平八郎乱1837=40歳: 御番人、後徒士となる。

以後、次第に重用される。

天保改革弾圧1842=45歳: 「円理算経」,

天保改革終・1844=47歳: *「算法対数表」,

阿部正弘首座1845=48歳:

国定忠治疎・1850=53歳: 長崎でラランデ天文書を十両で入手して、

尊徳報徳論・1851=54歳: *翻訳「ラランデ暦書」,

ペリー来航・1853=56歳:

砲弾の軌跡(放物線)の研究なども行なっている。

桜田門外変・1860=63歳:

生麦事件・・・1862=65歳: 「度学」,

薩摩藩士密航1865=68歳: 没した。

ほかに「砲術玉道真法」など。